

救急

出場件数
1816 件
搬送人員
1791 人

救急件数が過去最高に

救急件数は1816件を数えました。これは、1日に平均5件の出動があったことになりです。年々全国的に救急件数が増加するなか、平成11年の1778件から38件増えて、過去最多となりました。

この件数のうち、救急要請や病院への搬送を取り消される場合もありますので実際には1791人の方を搬送しました。種類ごとに分類すると、急病971人、交通事故388人、一般負傷231人、その他201人とつづきます。

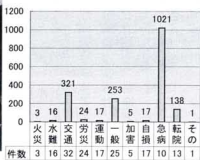
また、各町別に発生件数を見ると、峰山町366件、大宮町284件、網野町437件、丹後町207件、弥栄町176件、久美浜町

346件となっています。

月ごとみると、7月から9月及び11月から1月までが多く、水の事故の多い夏場や寒い水場での多いしやすき冬場に多いことがわかります。さらに、昨年は高齢者の方や幼児のインフルエンザの流行なども重なって多くなったようです。

その中でも、お年寄りの救急要請、特に急病での搬送が年々増える傾向にあります。

毎日の体調管理は急病の大きな予防策にもなり、それが巻頭でもふれました「健康寿命」につながるも



救急種別の出動状況

のと思われますので、とりわけ季節の変わり目などには十分気を付けていただきたいものです。そして、消防署としても「健康寿命」を支えるために救急技術の高度化やパイスタンダーの普及に力を入れる必要があります。



救急車の見学は人気があります。この笑顔の主たちが将来バイスタンダーになってくれることを願っています

救急救命士からの報告



へと応ずることをまじり、心願を報告し、その報告を基に、当番の救急士が対応します。

男女を問わず

幅広い年齢層の参加

普通救命講習会

心肺停止に陥った人の命がとりとめられたというニュースが、マスコミにも登場するようになりましたが、そのためには救急隊の到着までに、すでにバイスタンダーの救命手当が始まっている必要があります。このため、応急手当の普及は私たち救命士の重要な



高校生のみなさんの参加も毎回あります

組は非常に熱心で、心臓マッサージや人工呼吸の実技でもその効果度は基準に達しています。平成12年までの受講者総数は610人でした。受講された方の再受講も含め、さらに多くのみなさんの普通救命講習会参加を願っています。

仕事のひとつとして考え、平成9年から3時間の普通救命講習会を始めました。講習にはさまざまな職業・年齢層から参加があり、住民のみなさんの応急手当への関心の拡がりを実感しています。みなさんの取り



消火器の寿命はどのくらいなの

消火器は使用しなくても長年の間に老朽化していきます。耐用年数を経過すると、性能や機能が低下することがあります。

容器の耐用年数は消火器の取扱説明書及び銘板に表示されています。適正に置かれていた場合の使用期間又は使用期限が銘板に表示されています。過ぎたものは買い替える目安にしてください。

また、万が一の時、消火器が100%の効果を發揮できるよ



う5年を目安に定期的に点検を行ってください。



消火器を買うときはどんなことに注意すればいいの

ある「住宅防火安心マーク」を目印にしてください。

「住宅防火安心マーク」

購入の際には、国家検定合格品の「検定合格マーク」と、誰でも扱いやすく役だつ住宅用防災機器などに貼って



消火器はお近くの消火器専門販売店のほか、ホームセンターなどでも販売されています。



通信指令室に入った



一本の電話

先日、消防署に住民の方から「家に置く消火器を買いたいのが、どんなものをどこで買ったらいいのかわからない」という相談がありました。

そこで家庭用の消火器について触れてみたいと思います。

消防署に誰もいない なんてことがあるの？



あります

こんな問合せがありました。

「消防署に行ったらカギがかかっていて誰も職員がいなかった。こんなことがあるの？」

答えは「あります」

というのは、火災や救助の緊急時には、全員が出動しなくてはならないといったケースがあるからです。

このような時には、玄関先に「ただ今出隊中。」のような方は、峰山消防署までお電話してください」という内容のかけふだをかけて、「理解とご協力をいただいています」。

病氣やケガなどの緊急時にもよりの消防署にかけつけられた場合、もしも誰もいなければ、お手数ですが局番なしの「119番」にお電話してください。峰山にある本署の指令室に直接つながりますので、そ



中身は危険物です
性質に合った容器を使ってください

ポリ容器 × 金属製容器 ○

ポリ容器で ガソリンを購入していませんか



ガソリンスタンドでペットボトルやポリ缶（灯油用ポリエチレン容器）にガソリンや農機具の燃料を購入される方を見かけますが、こんな危険があります。

- 容器自体がガソリンの成分で変形したり、侵され漏れる恐れがあり危険です。
- 運搬中の揺れにより、静電気や可燃性蒸気が発生し火災の恐れがあります。

ガソリンなどの購入には、消防法で認められた金属製のものをお使いください。